

IAATOアザラシ/アシカ ウォッチング ガイドライン



陸上および氷上でのアザラシ/アシカ観察の 一般的なルール：

- アザラシ/アシカを見るときは、取り囲んだり、割って入ったりしないでください。特に母親と子供には注意してください。彼らが見える場所に留まってください。
- 海岸では、アザラシ/アシカと海の間は避け、陸側を歩いてください。
- 陸上にいるアザラシとの距離は、少なくとも5メートル/15フィートとることを推奨します。
- 一部の種、または行動によっては、さらに距離を保つ必要があります。
- 争っている雄のゾウアザラシからは、少なくとも25メートル/75フィートの距離を取ってください
- オットセイやアシカは陸上で機敏に動き回るため、近づきすぎると体当たりされたり、時には噛まれたりすることがあります。少なくとも15メートル/45フィートの距離を保ってください。
- 子育て中のアザラシが集中している砂浜では、野生生物の観察は立ったままで行うことが推奨されます

アザラシ/アシカの行動について理解する

陸、岩、氷上に上がったアザラシ/アシカは、ボートや人の気配に敏感です。音、匂い、視界に入るものに反応します。

アザラシ/アシカが動揺していることを示す行動を把握しておきましょう。以下の行動をはじめとした様々な行動が挙げられます。

- 警戒感を強め、頭を回す
- 横たわっている状態から直立の姿勢に変わる
- 接近する船舶、車両、人から急いで離れる
- 口を開いて威嚇する（氷上のヒョウアザラシ、陸上のゾウアザラシなど）
- 攻撃的に威嚇する、またはこちらに突進してくる

陸や氷上のアザラシ/アシカを見るとき

- 水からあがったアザラシ/アシカの視界を遮ったり、上からのぞき込んだりしないでください。体勢を低くしてください。母親が摂食する際、子供たちが放置されることがよくあります。子供たちは見捨てられたわけではありません。そのままにして、触れないでください。
- 顔をあげることを除いて、アザラシが何らかの反応をした場合は近づかないでください。
- 一匹または群れが海に向かって来たり、多数のアザラシ/アシカが急いで海に向かって来たりした場合は、ゆっくりと慎重に後ろに下がらなければなりません。
- 草むらにいる動物に注意してください。フィールドガイドは杖または杖と同等のものを持ち運ぶことが理想的です。
- ゾウアザラシ、特に離乳したばかりの子供は非常に好奇心が強く、近づいてくることがあります。近くにいるときは注意と警戒を怠らず、接触を避けることが重要です。
 - 極力、5メートル/15フィート以上の距離を保つようにしてください。
 - アザラシ/アシカは、備品に関心を持つ可能性があるため注意してください。アザラシ/アシカに対して反応したり、注意を引いたりすることはできる限り避けてください。
 - 1頭または複数がこちらに向かって移動してきた場合は、ゆっくりと後退します。
 - 自分から注意を注意を引こうとしないでください。
 - 離乳したばかりの子供に触れないでください。

